

26:1 この主の罰の後のことであった。
【主】はモーセと祭司アロンの子エルアザルに告げられた。
26:2 「イスラエルの全会衆について、一族ごとに、二十歳以上で、イスラエルで戦に出ることができる者すべての頭数を調べなさい。」
26:3 そこでモーセと祭司エルアザルは、エリコをのぞむヨルダン川のほとりのモアブの草原で、彼らに告げた。
26:4 「【主】がモーセに命じられたように、二十歳以上の者を数えなさい。」エジプトの地から出て来たイスラエルの子らは、
26:5 イスラエルの長子ルベン。ルベン族は、ハノクからはハノク族、パルからはパル族、
26:6 ヘツロンからはヘツロン族、カルミからはカルミ族。
26:7 これらがルベン人諸氏族で、登録された者は、四万三千七百三十人であった。
26:8 パルの子孫はエリアブ。
26:9 エリアブの子はネムエル、ダタン、アビラム。このダタンとアビラムは会衆から召し出された者であったが、コラの仲間としてモーセとアロンに逆らい、【主】に逆らった。
26:10 そのとき、地は口を開けて、コラとともに彼らをのみ込んだ。それは、その仲間たちが死んだときのこと、火が二百五十人の男を食い尽くしたときのことである。こうして彼らは警告のしるしとなった。
26:11 ただし、コラの子たちは死ななかった。
26:12 シメオン族の諸氏族は、それぞれ、ネムエルからはネムエル族、ヤミンからはヤミン族、ヤキンからはヤキン族、

26:13 ゼラフからはゼラフ族、シャウルからはシャウル族。
26:14 これらがシメオン人諸氏族で、登録された者は、二万二千二百人であった。
26:15 ガド族の諸氏族は、それぞれ、ツェフォンからはツェフォン族、ハギからはハギ族、シュニからはシュニ族、
26:16 オズニからはオズニ族、エリからはエリ族、
26:17 アロデからはアロデ族、アルエリからはアルエリ族。
26:18 これらがガド人諸氏族で、登録された者は、四万五百人であった。
26:19 ユダの子はエルとオナン。エルとオナンはカナンの地で死んだ。
26:20 ユダ族の諸氏族は、それぞれ、シェラからはシェラ族、ペレツからはペレツ族、ゼラフからはゼラフ族。
26:21 ペレツ族は、ヘツロンからはヘツロン族、ハムルからはハムル族であった。
26:22 これらがユダ諸氏族で、登録された者は、七万六千五百人であった。
26:23 イッサカル族の諸氏族は、それぞれ、トラからはトラ族、プワからはプワ族、
26:24 ヤシュブからはヤシュブ族、シムロンからはシムロン族。
26:25 これらがイッサカル諸氏族で、登録された者は、六万四千三百人であった。
26:26 ゼブルン族の諸氏族は、それぞれ、セレデからはセレデ族、エロンからはエロン族、ヤフレエルからはヤフレエル族。
26:27 これらがゼブルン人諸氏族で、登録された者は、六万五百人であった。
26:28 ヨセフ族の諸氏族は、それぞれ、マナセとエフライム。

26:29 マナセ族は、マキルからはマキル族。マキルはギルアデを生んだ。ギルアデからはギルアデ族。
26:30 ギルアデ族は次のとおりである。イエゼルからはイエゼル族、ヘレクからはヘレク族、
26:31 アスリエルからはアスリエル族、シェケムからはシェケム族、
26:32 シェミダからはシェミダ族、ヘフェルからはヘフェル族。
26:33 ヘフェルの子ツェロフハデには息子がなく、娘だけであった。ツェロフハデの娘の名は、マフラ、ノア、ホグラ、ミルカ、ティルツァであった。
26:34 これらがマナセ諸氏族で、登録された者は、五万二千七百人であった。

この章からはイスラエルが約束の地に入るための備えの意味合いが強くなります。主はまず人口調査を命じられました。客観的な資料や統計が、主の摂理とみわざを明かにすることが多いですから、それらを大切にしましょう。

その中でいくつかのことが明らかになります。ルベン族のダタンとアビラム、また彼らに同調した者たちは「モーセとアロンに逆らい」、絶たれたので人数からは消されました。

またシメオン族のジムリは罪を犯したので、このことから彼らの人数は、先の調査よりも減っています。

主への従順が後の子孫、また共同体の祝福を左右しますから、今主に従いましょう。

- ①神のみこころは？②どんな思いになりましたか？ ③生き方にどう適用しますか？
④この世にあって何を実践しますか？